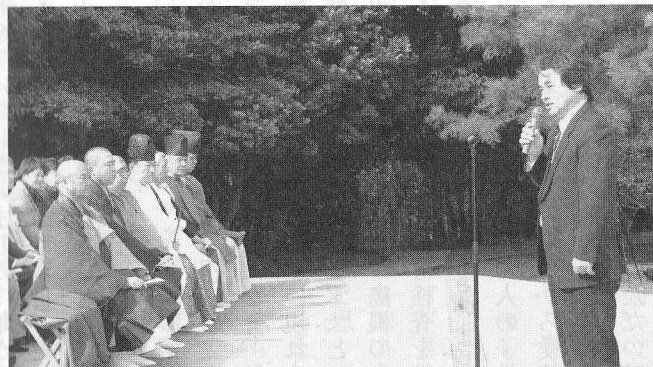


# RNNが神道山・日拝所で 東日本大震災から一年の慰霊祭

3月11日



慰霊祭は、AMD Aの菅波茂理事長の挨拶で開式

三月十一日、あの東日本大震災より満一年を迎え、副教主様が事務局長をおつとめのRNN（人道援助宗教NGOネットワーク）主催の「東日本大震災 RNN慰霊祭」が、神道山・日拝所において厳粛に執り行われた。

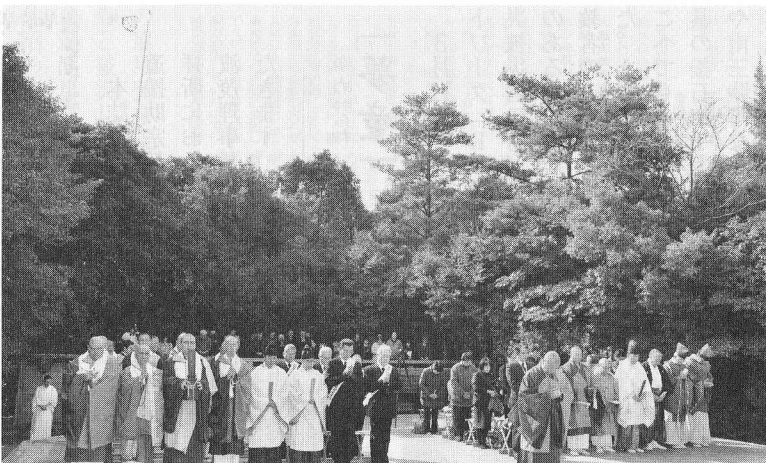
定刻の午後二時三十分、開式。まず、大震災直後から現地入りし被災者救援に当たっている国際医療NGO・AMD Aの菅波茂理事長の挨拶。菅波氏は、東日本でのボランティアの現場に共に赴いたRNNの宗教者が、亡くなられた方々に祈りを捧げて喜ばれたことを紹介し、今後も同じ取り組みをしていきたいと語った。続いて主催者であるRNNの永宗幸信委員長（天台宗本性院副住職）が真ごころの祈りを捧げる

ほしいと訴えた。

両氏の挨拶が終わり、大震災発生時刻の午後二時四十六分となった。大教殿の大太鼓が鳴り響き、永宗委員長先導のもとに参拝者一同は一分間の黙禱を捧げた。続いて、各宗派ごとの慰霊の祈りとなり、真言宗、金光教、立正佼成会、天台宗、そして本教（齋主は副教主様）の順でつとめられた。

閉式に先立ち、副教主様が締めくくりの挨拶。副教主様はまず事務局長としての御礼を述べた後、昨年四月二十九日、大震災より五十日の日拝所における慰霊祭や同八月のRNN絆ミーティングを振り返るとともに、三月十九日のAMD A絆コンサート（被災地の大槌高校吹奏楽部が参加し別掲）や三月二十一日の大槌町・大念寺におけるWCRPによる合同祈願式（別掲）を紹介し、これからも被災地に心を寄せ続け祈りを捧げ行動していく熱い思いを語られた。

また、こうした日拝所における一連の祈りの一方で、大教殿の御神前にお



大震災発生時刻の午後二時四十六分、参拝者一同は、身寄せた方の霊の平安と被災地の一日も早い復興を祈って黙禱を捧げた



閉式において、RNNを代表して副教主様のご挨拶

いては、その間一時間余、教主様が藤原徳行大教殿司教を従え、大祓詞を上げ続けられていた。  
なお、この慰霊祭の様子は、インターネットで生中継された他、テレビ・新聞等でも報道された。

教主様・副教主様のご講話がいつでも拝聴できる

## 「まるごとダイヤル」

# 086-284-1111

本部行事日程	教主様のご講話	副教主様からのホットニュース
午前3時～10時	午前10時～午後8時	午後8時～午前3時

☆電話一本で、年中無休の24時間、いつでもどこからでも、教主様・副教主様のご講話、また教団の活動情報が聞けます。